



## ◎ 広島大学病院総合内科・総合診療科からのご挨拶

### 新たに「広島大学病院総合診療医センター」が設置されます

伊藤 公訓

広島大学病院  
総合内科・総合診療科  
教授

Masanori Ito

平素より当科にご支援をいただき、誠にありがとうございます。当科では「社会に貢献できる優秀な総合医の育成」を理念とし、教育・診療・研究に精進しています。若い人たちも皆元気に活躍してくれています。ただ、総合医育成のために学内でできることはとても限られています。本当に若い人の心を動かすためには、医療の第一線で活躍しておられる皆様のご支援が必須です。引き続き、総合医育成のためお力添えくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

医療の専門分化・高度化が進み、臓器別・疾患別専門医の育成が進む一方、患者個人の複数疾患や生活上の課題を総合的に診ることができる総合医の育成が求められています。この度、本学は厚労省「総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業」に採択されました。この事業では、広島県と協力し、総合診療医を養成・確保するための拠点（総合診療医センター）を設置し、卒前教育・専門研修やその後のキャリア支援を継続的に行うことを目的としています。国内7-8大学が事業採択を受け、各ブロックを中心に総合医育成事業を展開しています。中国地区では、島根大学に続いての採択となりました。すでに島根大学では

“NEURAL GP network”という革新的な事業が展開されており、全国一の総合医育成実績を誇っています。本学もこの事業を手本にし、広島の特性を活かした総合医育成事業を展開したいと考えています。

総合診療医センターの設置により、当科専修医のみならず、自治医大卒業生、ふるさと枠出身医師など、総合診療に親和性の高い若手医師を、包括的にキャリア支援できる体制が整うこととなります。本事業においては、若手医師のロールモデルとなるべきセンター長を新たに迎え、県内複数の研修施設に診療・教育のための通信ネットワークシステムを構築する予定です。年内には事業を開始すべく準備を進めているところですが、この事業も大学だけの努力では良い成果が得られません。「広島大学病院総合診療医センター」の活動に期待していただきつつ、ぜひこの新しい事業の輪に加わってください。皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げます。



## ポストコロナにむけて、皆様のご期待に沿えるよう尽力します。引き続きのご指導・ご支援をお願いいたします。

菅野 啓司  
Keishi Kanno

診療教授  
医局長  
研究長

昨年度に引き続き、本年度も5名(うち3名がふるさと枠出身)の新入局者を迎えることができました。これもひとえに関連施設でご活躍されている諸先生方の熱意に満ちた教育・啓発活動のおかげであると感謝すると同時に、社会ニーズが高まっている総合医の重要性についての理解が少しずつ若い世代に浸透してきているのではないかと今後に期待しています。2年後に迎える2025年問題で、4人に1人が後期高齢者となる超高齢化社会にむけて、医療、介護分野の整備が急務となっているなか、総合医の果たすべき役割は増すばかりと思われま。実際に医局には多くのご施設から総合医の派遣を求めると依頼があり、引き続き総合医の育成の必要性を痛感しています。

教室員の活動については、これまで新型コロナ対応に

翻弄され、診療、研究、教育、学会活動などすべてにおいて多くの制約のなかで行われてきました。このため、皆様のご期待に十分に答えられなかった部分もあったものと思います。これからはポストコロナにむけて、教室員一丸となって活発な活動を行う所存です。その意気込みについては、後掲されている各スタッフのメッセージから読み取ることができると思われます。そのためには、皆様のおたたくご指導とご支援が必要不可欠です。今後も引き続きお力添えいただきますよう、何卒よろしくをお願いいたします。



## 基礎研究室だより

大谷 裕一郎  
Yuichiro Otani

講師

2023年度の総合内科・総合診療科の基礎研究チームは伊藤教授の下、リーダーの菅野先生、実験助手の米澤さん、私、大学院生2名そして医学部と薬学部の学生さんそれぞれ1名ずつの8名でスタートしています。これまで通り生活習慣病の発症機序の解明に取り組んでおり、本年度は本学自然科学研究支援センター、同医化学教室との共同プロジェクトである“脂肪細胞特異的IntS6コンディショナルノックアウトマウスの解析”が大きく進み、結果を皆様にご報告できる予定です。

実験結果をミーティングで共有し、意見を出し合い、方向性をきめ、次のステップに進む過程は、楽しくもあり嬉しくもあり、このチームで仕事ができることへの感謝が自然に湧いてきます。最後になりますが、本プロジェクトを後押ししてくださった、現JR広島病院理事長兼病院長の田妻 進先生に深く御礼を申し上げ、締めくくりに言葉とさせていただきます。



## COVID-19 流行による外来業務の一部縮小を緩和し、病診連携により、これまで以上の患者の受け入れを行っていきます

宮森 大輔  
Daisuke Miyamori

診療講師  
外来医長

COVID-19流行に伴い、2021年度途中より外来業務を縮小しておりましたが、2023年5月よりCOVID-19専用病棟も閉鎖になったことを踏まえ、2023年度は、地域連携の推進を図り、より一層の紹介患者様の受け入れを行ってまいります。新たなメンバーも加わり、総合診療、家庭医療、神経内科、救急などの背景を持つスタッフが連携して診療に当たらせていただきます。ご紹介いただいた患者様については、定期的な外来カンファレンスで情報共有お

よび方針決定を行い、診療の質の標準化に取り組んでおります。また、教育病院として大学内で唯一の研修医の外来研修を担っているため、指導医の責任のもと、複数の医師で診療に携わらせていただいておりますことをご了承ください。

引き続き先生方と連携を深めさせていただければと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 質を担保し、教育の充実した病棟運営を目指します

吉田 秀平  
Shuhei Yoshida | 診療講師  
病棟医長

自身が病棟医長を拝命し、2年目に入りました。閉鎖したタイミングもありましたが、2022年度はCOVID-19中等症を対象とした専用病床の診療と、通常の入院診療を概ね並列で行う形となりました。患者背景を考慮した、教育的な病棟運営を目標にしていた中で、佐川医師・西河医師の2名の専攻医が大学をローテーションしました。彼らに対して、専攻医を終えた若手スタッフが中心となって指導を行い、一層教育的な雰囲気醸成されました。2023年度は、2022年度より1名多い、

3名の専攻医がローテーションを行う予定です。質の高い診療に加え、広島総合診療医を育てる為の教育を担う責務も、更に重要なものとなってきています。医師や看護師、コメディカルと協働しつつ、実のある教育を提供することをミッションとし、より自律した診療チームを目指せればと考えております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

## 院外研修導入が総合医を志すきっかけに

菊地 由花  
Yuka Kikuchi | 助教  
初期臨床研修教育担当

当科の初期研修カリキュラムを見直し、院外研修を取り入れてから早くも3年目を迎えました。内科の選択科の一つとなりましたが、2022年度は計24名、今年度は現時点で23名の研修医が当科を自ら選択しており、今後更に増える予定です。

2021年の本カリキュラム導入時には、ご協力施設様に多大なお手数や混乱をおかけしましたが、現在では大きな問題もなくスムーズな運営を行っており、ご指導いただく皆様の深いご

理解とご協力で誠に感謝申し上げます。おかげさまで、当時お世話になった研修医の中から今年度3名の方が仲間となってくださいました。彼らに当科を選んだ理由を聞くと、「まだ言葉で総合医の説明は難しいものの、院外研修に大変感銘を受け指導医の先生方のようになりたいと感じたから」という意見が多く、私たち総合医の多様な働き方を現場で示すことの重要性を改めて感じております。広島の総合医育成に引き続きご高配をよろしくお願い申し上げます。

## 教務通信：担当変更の御挨拶

池田 晃太郎  
Kotaro Ikeda | 医科診療医  
教務担当

平素より当科の学生教育にご協力頂き、誠にありがとうございます。2023年度より教務を担当させて頂く運びとなりました。池田晃太郎と申します。若輩者ではありますが、前任の大谷先生より受け継いだバトンを大切につないでいく所存です。臨床実習Ⅰ(医学科5年生)、臨床実習Ⅱ(医学科6年生)、コミュニケーション学講義(医学科1年生)が主要な担当項目になります。特に臨床実習Ⅱでは協力病院の先生方の暖かいご

指導のおかげで、学生さんからも大変好評を頂いております。いつも本当にありがとうございます。これからも医学生のみならず総合診療の魅力が伝えられるよう、一意専心の思いで務めさせて頂きます。甚だ簡単ではありますが、挨拶に代えさせて頂きます。総合内科・総合診療科同門の先生方ならびに協力関係施設の先生方におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## 地域に根差す総合診療専門医育成のため、研修プログラムの充実に努めます

原武 大介  
Daisuke Haratake | 特任助教  
総合診療専門研修プログラム運営担当

本年度より、広島大学病院総合診療専門医研修プログラムの運営を担当させていただきます原武大介と申します。指導者として駆け出しのため色々至らぬ点もあると思っておりますが一杯務める所存です。さて、本年度は新専攻医5名、他プログラムからの移籍1名、計6名の専攻医を迎えることができました。やる気に満ちた個性豊かなメンバーが揃いましたが、特筆すべきは新専攻医のうち3名が本学ふるさと卒の卒業生であること

です。前任の小林知貴先生をはじめとした先輩方、また各施設の指導医の先生方のご尽力により生み出されたこの良い流れを絶やさぬようにしたいと思います。コロナ禍の3年間、指導医・専攻医が一堂に会しての振り返りができませんでした。本年度は対面での振り返りも行いながら、専攻医が充実感をえられるような研修を行っていかうと考えております。引き続きご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# 活動報告

## 漢方診療センター

小川 恵子 | 漢方診療センター長  
Keiko Ogawa | 教授

2016年、広島大学病院総合内科・総合診療科に漢方診療センターが開設されました。2021年には新体制となり、鍼灸外来も開設し湯液と組み合わせた治療を開始しております。2022年12月より、医学専門プログラムにおいて漢方医学教育を担当することになりました。日本の国立大学では3番目の漢方医学科であり、漢方医学の臨床・教育・研究を行う場としての土台ができました。漢方診療センターは総合内科・総合診療科と協力し、診療を行っております。また、漢方診療センター運営委員会には各科の医師が所属しており、委員会では症例検討も行っています。

4月22日、23日には天津中医薬大学と合同で日中中医学シンポジウム国際シンポジウムを開催し、盛況におわかりました。中国伝統医学分野と日本の伝統医学である漢方の交流する場は本会しかなく、貴重な意見交換の場でもあります。今後も交流を継続させ、共同研究をすすめ、大学間協定を締結する予定です。



## 趣味の部屋



重信 友宇也  
Yuya Shigenobu

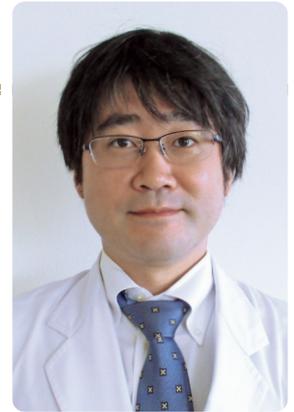
こんにちは、広島大学の重信です。いつもご指導いただきありがとうございます。突然ですが、皆様趣味はお持ちでしょうか？業務で疲れた心身を癒すうえで趣味はとても大事だと思います。ということで(?)このコーナーでは僕の趣味をご紹介します！



物心ついた時から飛行機が大好きで、子供の頃はパイロットになるのが夢でした。近眼のためパイロットにはなれませんでした。今でも飛行機は乗るのも見るのも大好きです(空港に行くとな人で何時間も眺めています)。医局のデスクにもANAのカレンダーとブルーインパルスペットボトルを飾ってます。

飛行機と同じぐらい、いやそれ以上に没頭しているのが車です。主にスポーツカーが好きで自分好みに改造したり、ドライブはもちろん、ここ数年はサーキット走行もするようになりました。一般道では不可能な全開走行は爽快の一言で、日々のストレスもすぐに忘れることが出来ます！コロナ禍も明け、徐々に皆様とお会いできる機会も増えてくるかと思いますが、その際には是非飛行機・車談義に花を咲かせましょう。またサーキット走行に興味のある方はいつでもご連絡ください！





## 吉島病院での1年を振り返って

吉島病院 総合診療科  
Nobusuke Kishikawa 岸川 暢介

平素より大変お世話になっております。松田先生や横林先生に続いて、自分のところにOB活動報告の依頼が来たのにはビックリしましたが、開業医とは違った勤務医の立場での報告（病院紹介）をしたいと思います。

私は2006年に広島大学を卒業し、広島赤十字・原爆病院、九州大学病院で初期研修を行い、2008年から広島大学病院総合内科・総合診療科に入局しました。その後は10年以上大学病院で働いていましたが、ご縁があって2022年4月より吉島病院で働くことになりました。久しぶりに入院患者を受け持ち、腹部エコー検査や上部消化管内視鏡検査などを熟す日々は新鮮で、間違いなく検査手技のレベルが上がったと実感できます。

吉島病院は昭和28年3月に開設され、今年70周年を迎えました。病床数は199床、結核病棟や療養病棟をもち、人間ドックや訪問看護も行う地域密着型の病院です。そんな吉島病院で、総合診療科としては主に発熱外来や初診外来を担っています。新型コロナウイルスの影響もあり、発熱外来はなかなか緊張感があって良い感じです。他にも人間ドックの腹部エコーや上部消化管内視鏡検査なども行っています。平均すると自分が担当する分は午前中に7件くらいでしょうか。若手の先生の手技獲得に適した環境ではないかと思えます。

そして、吉島病院の特徴として新型コロナウイルス後遺症外来を設けていることが挙げられます。吉島病院は2021年から前任の松村先生の手で新型コロナウイルス後遺症外来がスタートしていました。週3日ですが、総合診

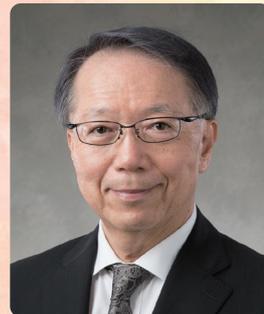
療科の医師が後遺症に対応しており、後期研修医の先生もマニュアルを参考にしながら診療を担ってくれています。新型コロナウイルスが5類に分類されましたが、その影響は予測がつきません。後遺症外来もまだまだ続くと思われるので、興味のある若手の先生は吉島病院での研修を検討いただければと思います。

2020年から新型コロナウイルスが猛威を振るい、総合診療科としてもこのウイルスは避けて通ることはできませんでした。2021年から大学病院で新型コロナウイルス感染者の入院対応を行っていましたが、この時は急性期の対応だけで精一杯で、後遺症についてはあまり関心がなかったことを覚えています。ご縁があって2022年4月から吉島病院で新型コロナウイルス後遺症外来を行うことになりましたが、就任当時は後遺症に対して未経験であり、どのような経過をたどるのか見当もつきませんでした。私自身も1年を通して後遺症の患者さんの診療にあたり、やっとその特徴が掴めてきたところ です。その厄介さを目の当たりにしていると、この病気だけはかかりたくないと思えます。どうか皆さまも感染に注意してお過ごしください。

最後に個人的な感想です。2022年とはとにかく後遺症に振り回された一年でしたが、新聞やテレビの取材、医師会での講演などを経験することが出来て、ある意味充実もしていました。今後は若手の先生にもどんどん機会を得て欲しいと思っています。



# JR広島病院理事長兼病院長 就任に際して



JR広島病院理事長兼病院長／広島大学名誉教授 田妻 進  
Susumu Tazuma

広島大学総合内科・総合診療科同門会の皆さま、暫くのご無沙汰でしたがいかがお過ごしでしょうか。私儀、JA尾道総合病院・病院長を4年間務めました。2023年4月よりJR広島病院理事長兼病院長に就任いたしましたので、改めてご挨拶申し上げます。

さて、JR広島病院は大正9年（1920年）に広島駅構内に開設された広島鉄道治療所を起点として昭和15年（1940年）に広島鉄道病院を開院して以降、戦時中の被爆や戦後の混乱期を乗り越えながら、通称「鉄道病院」として今日まで広島の地域住民に寄り添ってまいりました。その間、昭和62年（1987年）の日本国有鉄道分割民営化に伴い西日本旅客鉄道株式会社広島支社広島鉄道病院となり、平成28年（2016年）には事業継承して現在の医療法人「JR広

島病院」として新たなステージに歩を進めているところです。

JR広島病院は広島市東区に位置する総合病院として同地域住民の皆さまや医師会の先生方に信頼していただけるように地域医療への貢献に全力で努めております。また、広島駅から徒歩圏内にある利便性から県外からも多くの患者さんに受診していただいております。その多様なニーズにお応えできるように診療体制を整えています。

ご承知の通り、2030年には県立広島病院との基本的統合による1000床規模のメガホスピタル開設を見据えて、まずは広島駅北や東区を中心に広島市の地域医療への貢献に努めたいと存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 総合診療科医局 新メンバー紹介



Hana Akimizu

### 秋光花先生（専攻医1年目）

- 所持資格：秘書検定2級 ●直前の職場：安佐市民病院 初期研修医 ●出身地：広島県 ●出身校（卒業年度）：熊本大学（2021年度）
- 血液型：B型 ●趣味・特技：読書、音楽鑑賞、カラオケで踊ること ●休日の過ごし方：最近ジムに通い始めました
- 部活動（中学校・高校・大学）：中学：吹奏楽部とサッカー部 高校：剣道部 大学：フットサル部、ダンス部
- 尊敬する人：星野源 ●アピールポイント：淡々としつつ、明るく元気なところ
- この1年の目標：なんでも診る、先輩方から学ぶ、諦めない ●将来の目標：いろいろな場所を経験しながら、働き続けること
- 皆さんへひとこと：未熟者ですが、たくさん吸収し、学びながら総合診療力を身につけていきたいです。



Yuri Takemura

### 竹村優李先生（専攻医1年目）

- 所持資格：医師 ●直前の職場：広島赤十字・原爆病院 ●出身地：広島県 ●出身校（卒業年度）：広島大学（2020年度）
- 血液型：O型 ●趣味・特技：カメラ、カフェ巡り、旅行 ●休日の過ごし方：ショッピング
- 部活動（中学校・高校・大学）：クラシックギター部・HALS（医療サークル） ●尊敬する人：両親
- アピールポイント：些細なことでもよく笑います ●この1年の目標：幅広い疾患を経験したいです
- 将来の目標：患者さんに寄り添える医師になりたいです
- 皆さんへひとこと：今年度から、総合診療科の一員として精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します！



Riku Nishimya

### 西宮陸先生（専攻医1年目）

- 直前の職場：中国労災病院 ●出身地：広島 ●出身校（卒業年度）：広島大学（2020年度）
- 血液型：A型 ●趣味・特技：旅行、カメラ、ゲーム ●休日の過ごし方：お出かけ、ゲーム
- 部活動（中学校・高校・大学）：HALS（BLSの普及活動などを行うサークルです）、ランニングサークル
- 尊敬する人：両親 ●アピールポイント：自分が話すより人の話を聞く方が好きです。
- この1年の目標：経験したことを1つずつ確実に身につけていきたいです。 ●将来の目標：仕事もプライベートも充実させること
- 皆さんへひとこと：わからないことだらけでご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒よろしく願いいたします。



## 相原 彩貴 先生 (専攻医1年目)

- 直前の職場：東広島医療センター ●出身地：広島 ●卒業年度：2021年度 ●血液型：O型
- 趣味・特技：ヨガを5年くらいやっています ●休日の過ごし方：カフェ・パン屋巡りしています
- 部活動 (中学校・高校・大学)：中学は陸上部で高校はバスケット 大学は何もしていません ●尊敬する人：兄
- アピールポイント：体が柔らかいです ●この1年の目標：去年より使える人になること
- 将来の目標：何かと頼れる医師になりたいです ●皆さんへひとこと：メンタル弱いので優しくお願いします



## 榎 雄太郎 先生 (専攻医1年目)

- 所持資格：BLSプロバイダー、ACLSプロバイダー ●直前の職場：広島市民病院 ●出身地：段原南 ●卒業年度：2021年度
- 血液型：O型 ●趣味・特技：映画、音楽、ダイビング ●休日の過ごし方：勉強したり、映画見たり、お酒飲んだりしています
- 部活動 (中学校・高校・大学)：中学だけ野球部 ●尊敬する人：松本人志 ●アピールポイント：リーダーシップがあるとされます
- この1年の目標：臨床能力をとにかく伸ばします ●将来の目標：病院総合医 ●皆さんへひとこと：真面目に頑張りますので、よろしくお願いします。

# 漢方診療科 新メンバー紹介



## 田村 義博 先生 (専攻医4年目)

- 出身地：愛知県 ●出身校：弘前大学 ●血液型：B型 ●趣味・特技：読書、コーチング ●休日の過ごし方：読書、音楽鑑賞
- 部活：剣道部 ●尊敬する人：各分野でそれぞれ ●直前の職場について：南砺市医療機関
- アピールポイント：総合診療科、家庭医、東洋医学、コーチングなどのスキルを用いて、多角的に人の幸せにアプローチします。
- この1年間の目標：速やかな病診・病病連携、西洋医学-東洋医学の連携を行えるように、この街に詳しくなります。



## 小高 雪奈 先生 (鍼灸師)

- 出身地：茨城県 ●出身校：森ノ宮医療専門学校鍼灸学科 ●血液型：B型 ●趣味・特技：卓球、テニス、水泳
- 休日の過ごし方：お散歩、自然の中で過ごす ●部活：卓球、バレーボール ●尊敬する人：緒方貞子さん
- 直前の職場について：富山の病院で研修をしていました。
- アピールポイント：中国と中米に住んでいたことがあり、中国語とスペイン語が少し話せます。
- この1年の目標：病院医療について学ぶとともに、鍼灸を活用して患者さんに貢献していきたいです。



## 岡村 桃果 先生 (鍼灸師)

- 出身地：大阪府 ●出身校：森ノ宮医療学園専門学校 ●血液型：O型 ●趣味・特技：運動、バスケット
- 休日の過ごし方：ジム サイクリング (ミニチャリ) ●部活：バスケット ●直前の職場：エステ関係
- アピールポイント：大学で宇宙物理学を専攻 ●この1年の目標：何でも楽しみ努力する。



## 金山 敏治 先生 (鍼灸実習生)

- 出身地：広島県三次市 ●出身校：広島県立広島中央特別支援学校 ●血液型：AB型 ●趣味・特技：飲み会
- 休日の過ごし方：今年は休みません ●直前の職場：特別養護老人ホーム ●尊敬する人：高田純次
- アピールポイント：鍼あん摩マッサージ指圧師・社会福祉士・介護支援専門員です
- この一年の目標：倍努力します！



## 瓜生 ゆかり 先生 (鍼灸実習生)

- 出身地：福岡県 ●出身校：福岡医療専門学校 (2023年卒) ●血液型：A型 ●趣味・特技：味噌づくり・保存食づくり
- 休日の過ごし方：子供の部活応援 スパイスカレー作り ●部活：吹奏楽・陸上 ●尊敬する人：アントニオ猪木 藤井聡太
- アピールポイント：こだわりの手作りみそをおすそわけします。お声かけください！！
- 直前の職場について：食養生のおうちごはん屋さん ●この1年の目標：鍼灸チームの体質改善



## 先生方の日々のお仕事のため、細やかな秘書業務に努めます 岡本 美弥 Miya Okamoto

総合診療科 秘書の岡本美弥と申します。  
私の主な仕事内容ですが、電話・来客対応・スケジュール確認・エクセルワードの入力作業・勤務簿管理・消耗品の買い出し等を行っております。昨年度から、新たにDr.JOYが加わり、勤務簿管理が徐々に紙からPC上で行えるようになりました。  
当科での勤務は、もう少しで丸2年になります。最初は

慣れなく不安なこともありましたが、先生方や職員の皆様が見守り優しく接して下さるので、とても楽しく業務をさせて頂いております。  
至らない点が多々あるかと思いますが、先生方の日々の仕事が無事に行えるように、細やかに秘書業務を努めさせていただきますと存じます。  
今後ともどうぞよろしくお願い致します。





## ◎紹介患者様の依頼

2022年度も年間を通して200以上の医療機関より、不明熱、体重減少、全身の痛み、しびれ、浮腫などの各症状に加えて、周期性発熱等に対する遺伝学的検査目的の紹介患者様を診療させていただきました。経過の報告は担当医が責任をもって記載しておりますが、紹介後の経過等で不明な点等ございましたら、担当医までご連絡いただけましたら幸いです。通常の地域連携を介した紹介に加えて、当日の紹介も受け付けております。詳しくは以下のフローチャートをご参照ください。引き続き先生方と連携を深めさせていただければと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### ■ 当院紹介のフローチャート



### 外来診療担当表

◎総合内科・総合診療科 紹介連絡先：082-257-5555（代）

	月	火	水	木	金
総合診療科 外来	伊藤 公訓 宮森 大輔 酒井 加奈	石田 亮子 重信 友宇也 土井 まい子	菅野 啓司 吉田 秀平 藤井 泰斗	原武 大介 大谷 裕一郎 藤井 泰斗	菊地 由花 池田 晃太郎
漢方診療科	武生 英一郎 石田 亮子	小川 恵子 石田 亮子 岡村 桃果	河原 章浩 小高 ゆき奈	小川 恵子 菊本 修	河原 章浩 小高 ゆき奈 岡村 桃果

## 学会案内

2023年7月9日(日)

**第130回 日本消化器内視鏡学会 中国支部例会**

会場 広島大学 凌雲棟(霞キャンパス内)

〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3 TEL:082-257-5555

会長 伊藤 公訓 (広島大学病院 総合内科・総合診療科)

**第30回 日本病院総合診療医学会**

会期 **2025年2月末予定**

開催に向け鋭意準備中です

## 編集後記

研究助手 米澤さやか Sayaka Yonezawa

年間誌「Soshin Press vol.4」をお読みいただき誠にありがとうございます。

「Soshin Press」はお届けする皆さまに、教室の活動をご覧になっていただく機会を頂戴したいという思いのもと創刊され4年目を迎えました。医局の先生方や新

たにお迎えした先生方について、より身近に感じていただけるよう、発信させていただけたらと存じます。

これからも本誌を通じて皆さまと教室をつなぐ一助となれますよう、より内容を充実させて参りたいと思います。引き続き何卒宜しくお願い致します。



広島大学病院総合内科・総合診療科へのご意見・ご質問は…

E-mail [soshinhp@hiroshima-u.ac.jp](mailto:soshinhp@hiroshima-u.ac.jp)

ホームページ <https://soshinhp.hiroshima-u.ac.jp/>

facebook <https://ja-jp.facebook.com/sogoshinryou/>



ホームページ



facebook

広島大学病院 総合内科・総合診療科 ニュースレター vol.4

■発行日：2023(令和5)年6月21日 ■発行：広島大学病院 総合内科・総合診療科 〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 TEL.082-257-5460